大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部	〒550 大阪市西区千代崎3丁目南2−37	電話 大阪 06 (586)1122
南部事業本部	〒590 堺市住吉橋町2−2−19	電話 堺 0722(38)1131
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1−5	電話 和歌山 0734(31)2481
北東部事業本部	〒578 東大阪市稲葉2−3−17	電話 河内 0729(62)1131
北部事業所	〒569 高槻市緑の里町39−6	電話 高槻 0726(71)0361
奈良支社	〒631 奈良市学園北2−4−1	電話 奈良 0742(44)1111
兵庫事業本部	〒650 神戸市中央区東川崎町1−8−2	電話 神戸 078(360)3100
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4−8	電話 姫路 0792(85)2221
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6−57	電話 豊岡 0796(23)2221
京滋事業本部	〒600 京都市下京区中堂寺薬田町1	電話 京都 075(311)7381
滋賀支社	〒525 草津市西大路町5−34	電話 草津 0775(62)5311
滋賀東支社	〒522 彦根市大東町12−11	電話 彦根 0749(22)3131
長浜営業センター	〒526 長浜市南呉服町3−4	電話 長浜 0749(62)7171
本社	〒541 大阪市中央区平野町4−1−2	電話 大阪 06 (202)2221

大阪ガス株式会社

⚠危険

❗ ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。
連絡する

50G-8583 (00)
97.05(00)

ガス吸収式冷暖房機
室外機

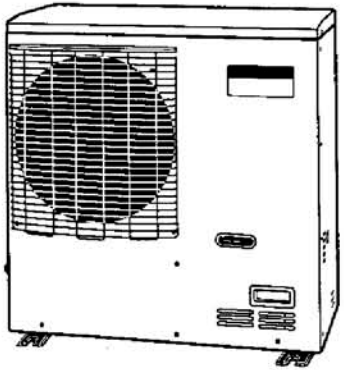
家庭用

取扱説明書

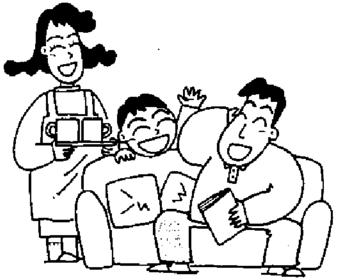
大阪ガス機器コード	型式名
40-600	RNAL-50G

このたびは、大阪ガスのガス吸収式冷暖房機をお買い上げいただきましてありがとうございます。
安全にご使用いただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

- ●この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- ●別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
- ●来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- ●本書を紛失された場合や、ご不明の点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。
- ●この機器は、国内専用ですので海外では使用しないでください。



大阪ガス



INDEX

お使いになる前に

各部のなまえとはたらき――3 4 5

お使いになる前に――6

安全に正しくお使いいただくために――7 8 9 10 11 12 13 14

運転のしかた

運転のしかた
室内機の詳しい説明は、室内機などの取扱説明書をお読みください。

冷房運転――15

暖房運転――15

ドライ運転――16

タイマ運転――16

覚えておいて下さい

凍結による破損予防について――17 18 19

安全装置について――20

じょうずな使い方――21

知っておいていただきたいこと――22

日常の点検とお手入れ――23 24 25

長期間使用しない場合――26

故障かな？と思ったら――27 28 29 30

アフターサービス

保証とアフターサービス――31 32

仕　様――33 34

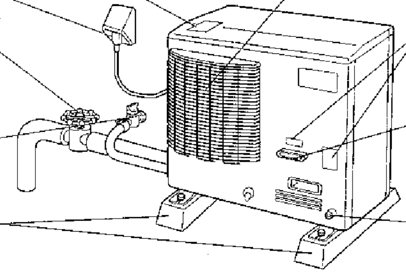
連絡先――裏表紙

各部のなまえとはたらき……

お使いになる前に、知っておきましょう

室外機

▶ 内の数字は主な説明のあるページを示しています。



注意ラベル
使用上の注意事項を表示してあります。

電源プラグ
機器の電源を接続します。

給水元栓
給水の元栓です。

ガス栓
ガスの元栓です。

脚
機器を固定します。

8ページ

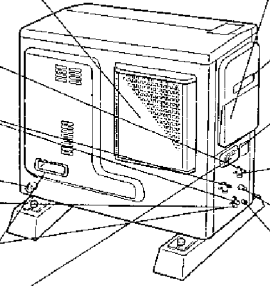
クーリングユニット吹出口・ファンガード
冷房運転時にファンが回り風がでます。

注意ラベル
使用上の注意事項が表示してあります。ご使用前に必ずお読みください。

排気口
運転中に燃焼排気がでます。

冷温水水抜き栓
冬期に凍結予防として水を抜きます。

17･18･19ページ



クーリングユニット吸込口・フィルタ
冷房運転時にファンが回り空気取入口になります。

給水接続口
給水配管の接続口です。(15A)

冷温水接続口
冷温水の接続口です。(15A)

オーバフロー

アース止めネジ
アース線を止めます。

冷温水水抜き栓
冬期に凍結予防として水を抜きます。

17･18･19ページ

取っ手

電気接続口・電源カバー
電源・信号線を接続するところです。

注意ラベル
使用上の注意事項が表示してあります。

銘板
機器のガス種・電源が表示してあります。

給水水抜き栓
冬期に凍結予防として水を抜きます。

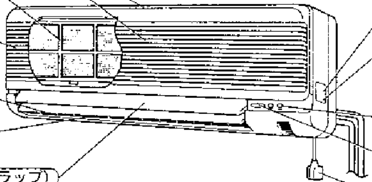
17ページ

ガス接続口
ガス配管の接続口です。(15A)

排水接続口
排水管の接続口です。(15A)

室内機

室内機についての詳しい説明は、室内機の取扱説明書をお読みください。



吸込口（天面・前面）

エアフィルタ
左右2枚あります。

前面パネル

吹出口

左右風向調節羽根

上下風向調節羽根（フラップ）

銘板

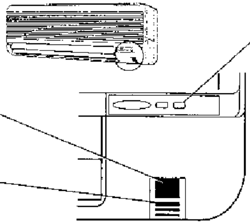
コードマーク

本体表示部

機種名

電源プラグ

本体表示部

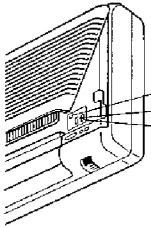


表示ランプ
- ●運転ランプ（緑）……運転中点灯します。
- ●タイマランプ（緑）…タイマ設定中、またはタイマ運転中に点灯します。

受信部
リモコンからの信号を受けます。

室温センサ
本体付近の温度を感知します。

本体操作部



応急運転ボタン

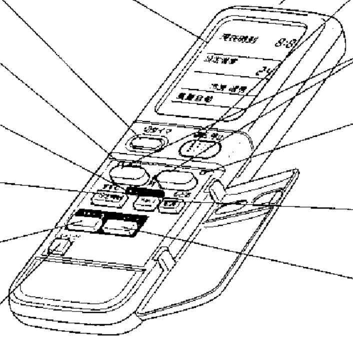
冷暖切換スイッチ

アドレススイッチ

各部のなまえとはたらき……

リモコン

リモコンについての詳しい説明は、室内機の取扱説明書をお読みください。



運転表示部
運転状態を表示します。

切タイマボタン
切タイマをセットする時に押します。

時計合わせボタン
時刻合わせをする時に押します。

予約ボタン
入タイマを予約する時に押します。

設定開始ボタン
入タイマ時刻を合わせる時に押します。

運転切換えボタン
運転モード（冷房、暖房など）を変える時に押します。

スイングボタン
上下の風向調節羽根（アクティブフラップ）をスイングさせたりお好みの位置で停止させたりする時に押します。

送信部
室内機本体へ信号を送ります。

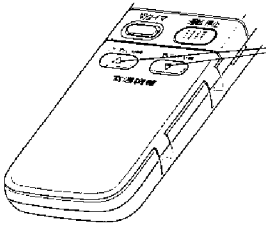
運転／停止ボタン
運転を開始したり停止したりする時に押します。

時刻設定ボタン
タイマの時刻合わせする時に押します。

サービス点検ボタン
サービスマンが使用します。お客様は、操作しないでください。

取消しボタン
タイマ予約を解除する時に押します。

風量調節ボタン
設定風量を変える時に押します。



室温調節ボタン
設定温度を変える時に押します。

日頃よく使用する4つのボタンを扉の外に配置しました。
また、暗がりでも操作ができるよう、それぞれのボタンに特徴のある突起をつけました。

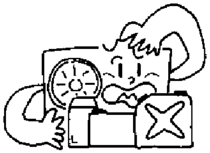
●各表示例は説明のためのもので、実際とは異なります。

お使いになる前に……

ひとつずつゆっくりと確かめてみましょう

はじめてお使いになる時は

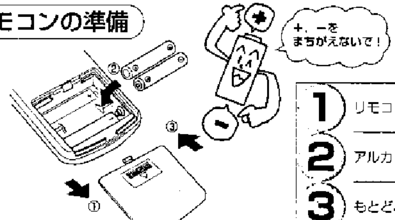
1. 電源プラグを、コンセントに差し込みます。
   機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカを入れてください。
2. ガス栓を全開にします。
3. 給水元栓を全開にします。
4. まわりに燃えやすいものがないか確認します。
   室外機の近くに、燃えやすいものがないかよく確かめてください。
   ヘアースプレーなどの引火物を、近くで使用しないでください。



⚠警告
ぬれた手で電源プラグを触らないでください。感電のおそれがあります。

リモコンの準備

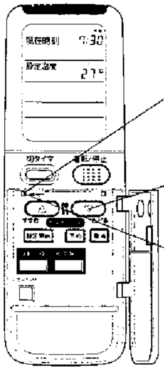
乾電池を入れる



1. リモコン裏面のフタを矢印の方向へ開ける。
2. アルカリ乾電池（単4）2個を入れる。
3. もとどおりフタを閉める。

現在時刻を合わせる

現在時刻を合わせないと正しいタイマ予約ができません。



（例）午後7時30分の合わせかた

1. 時計合わせボタンを先の細いもの（マッチ棒など）で押します。
   （現在時刻表示部が点滅します。）
   電池を入れ替えたときは②の操作から始めます。
2. 時刻設定ボタンで「午後7：30」に合わせます。

3. もう一度時計合わせボタンを押します。
   （現在時刻表示部の点滅が止まります）

安全に正しくお使いいただくために…

かならずお守りください

この取扱説明書は、室外機の取扱説明を中心に作成してあります。室内機の取扱説明書については室内機の取扱説明書に詳しく記載してありますので合わせてお読みください。

〈安全に正しくお使いいただくために〉
製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。

一般的な危険・警告・注意　一般的な禁止　必ずアース線を接続する　必ず行う　プラグをコンセントから抜く　接触禁止

据え付け時の注意

⚠危険

●この機器は、屋外設置型です。
絶対に屋内に設置しないでください。

燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

屋外設置

⚠警告

●機器の据え付け・移動及び付帯工事はお買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。

ご自分で据え付け・移動及び付帯工事をされ不備があると、ガス漏れ・水漏れや感電・火災の原因になります。

販売店または専門業者に依頼する

●アース工事をおこなってください。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アースをする

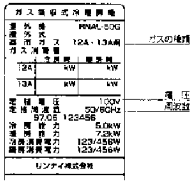
据え付け時の注意

⚠警告

●室外機本体左側面下部の銘板に表示してあるガス（ガスグループ）及び電源（電圧・周波数）を使用してください。

間違っていると修理できない故障や不完全燃焼及び爆発点火によりやけどの原因になります。
※転居された場合もガスの種類、電源の種類が一致していることを必ず確認してください。

指定のガス・電源を使用する



●設置場所によっては漏電ブレーカの取り付けが必要です。

漏電ブレーカが取り付けられていないと、感電の原因になります。お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

漏電ブレーカを取り付ける

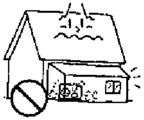
●電源は必ず定格電圧で、室外機専用回路を使用してください。

電源が間違っていると修理できない故障の原因になります。
専用回路でないと電源回路容量不足の原因になります。

室外機専用回路を使用する

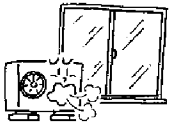
●増改築などにより屋内状態にしないでください。（波板などにより囲いをしない。）

充分な給排気ができないため不完全燃焼をし、一酸化炭素中毒などの原因となります。



禁止

●排気ガスを窓、ガラスに当てないようにしてください。

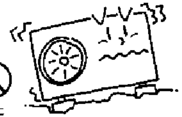


禁止

⚠注意

●機器は、しっかりした地盤に傾けずに据え付けてください。

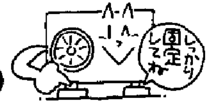
機器が傾いていると衝撃などにより倒れたり、性能がじゅうぶんに発揮できない場合があります。



禁止

●機器の固定は確実に行ってください。

機器が確実に固定されていないと、衝撃などにより倒れたり移動したりして、思わぬ事故の原因になることがあります。



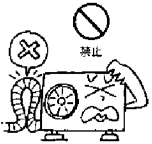
機器を固定する

安全に正しくお使いいただくために…

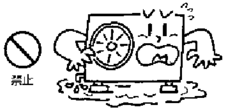
据え付け時の注意

⚠注意

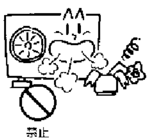
●ガス配管は、無理な力や衝撃が加わらないようにしてください。
無理な力が加わるとガスが漏れて室外機の周囲に溜り、発火の原因になることがあります。



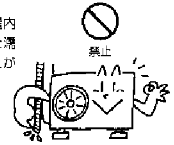
●排水は必ず排水溝へ流してください。
冷房時には時々排水口から排水されます。排水をたれ流しにしたりしますと周りが濡れ、思わぬ事故の原因になります。



●クーリングユニットからでる風や、排気口から出る排気ガスが周囲のものに当たらないように注意してください。
クーリングユニットからは、湿気を帯びた風が、排気口からは熱い排気ガスが出ます。樹木が枯れたりしますのでじゅうぶん離してください。

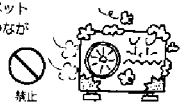


●ドレン工事は、工事説明書に従って確実に排水するよう配管してください。
不確実な場合は、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。



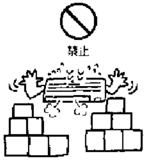
●給水・冷温水管の保温はじゅうぶんにしてください。
保温が不十分な時は冬期に凍結し配管が破損する原因になります。

●潮風の直接あたる場所、温泉地帯等の腐食しやすい場所や機械加工工場等の綿ほこりの多い場所では使用しないでください。
また、犬などのペットを機器の周囲につながないでください。



●据え付けは、重量に十分に耐える所に確実に行ってください。
強度不足や取り付けが不完全な場合には、機器の落下により、ケガの原因になります。

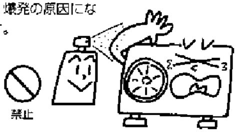
●この機器は家庭用なので業務用には使用しないでください。
業務用に使用すると著しく寿命を縮める原因になることがあります。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。



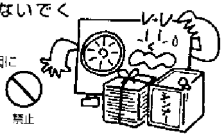
使用時の注意

⚠警告

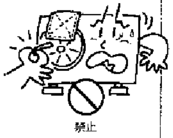
●ガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを近くで使用したり、置かないでください。
引火、爆発の原因になります。



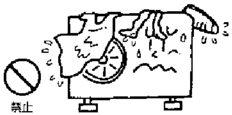
●排気口の近くや室外機の上・周囲には燃えやすいもの（洗濯物・新聞紙・木材・スプレー缶・灯油など）を置かないでください。
火災の原因になります。



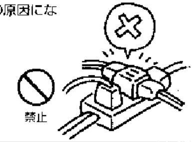
●排気口や空気の吸込口・吹出口に指や棒、紙、布、異物等を入れたり、開口部をふさいだりしないでください。
こげて臭いがしたり、過熱や火災の原因になります。内部でファンが高速で回転していますのでケガややけどのおそれがあります。



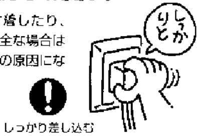
●室外機の上に洗濯物を干したり可燃物をのせないでください。
火災の原因になります。



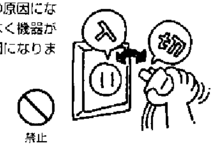
●電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。
感電や火災の原因になります。



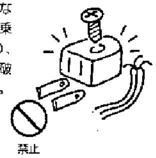
●電源プラグにほこりが付着していないか確認し、刃の根元までしっかりと差し込んでください。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。



●電源プラグでの停止はしないでください。
感電や火災の原因になるばかりでなく機器が故障する原因になります。



●電源コードを破損したり、加工しないでください。
感電や火災の原因になります。重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると破損の原因になります。



安全に正しくお使いいただくために…

使用時の注意

⚠警告

●長時間身体に直接温風や冷風をあてないようにしてください。

体調悪化・健康障害の原因になります。特に体力のない病人、乳幼児、お年寄りにはまわりの人が注意してあげてください。

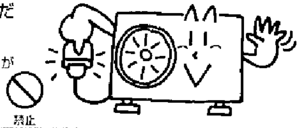
●吹出口や吸込口に指や棒など物を入れないでください。

内部でファンが高速で回転していますのでケガをするおそれがあります。

⚠注意

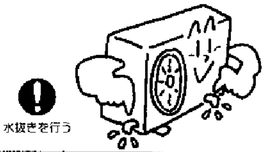
●冬期には、電源コードを抜かないでください。

凍結予防運転ができなくなり機器が破損することがあります。
(詳しくは、17ページをご覧ください。)



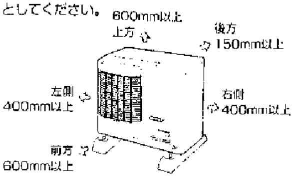
●長期間ご使用にならない時でやむを得ず電源を切る場合は、水抜きを行ってください。(不凍液が入っている場合を除く)

特に冬期に電源を抜く場合は、必ず水抜きをして凍結予防をしてください。
(詳しくは、17・18ページをご覧ください。)



●室外機の周囲には障害物との間に図の間隔をとり、風通しの良い所を選んでください。

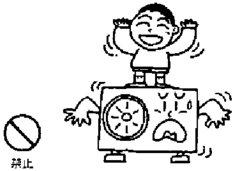
不備があると性能が不十分だったり過熱や火災の原因になることがあります。
前後左右のうち少くとも2方向は必ず開放状態としてください。



注）前方が避難通路の場合は、600mm以上必要です。

●機器にぶら下がったり、乗ったり物を乗せないでください。

落下・転倒などケガの原因になることがあります。

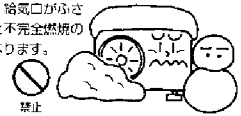


使用時の注意

⚠注意

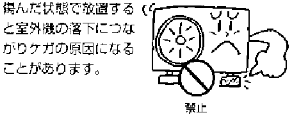
●積雪時には、排気口・給気口の点検・除雪を行ってください。

排気口・給気口がふさがれると不完全燃焼の原因になります。



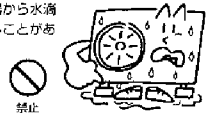
●長期使用で据え付け台が傷んでいないか注意してください。

傷んだ状態で放置すると室外機の落下につながりケガの原因になることがあります。



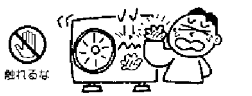
●室外機の真下にぬれて困るものは置かない。

冷房時に機器から水滴や露が落ちることがあります。



●運転中や停止直後に室外機の排気口に触れないでください。

高温になっているためやけどのおそれがあります。



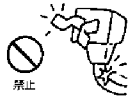
●市販の補助用具について
この機器専用の付属品あるいは指定の別売部品以外は使用しないでください。

思わぬ事故の原因になります。

指定の部品使用

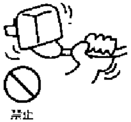
●電源コード・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は、使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因になることがあります。



●電源プラグはプラグを持って抜いてください。

コードを引っぱって抜くと、芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。



●濡れた手で電源プラグをさわらないでください。

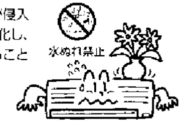
感電のおそれがあります。

●燃焼器具と一緒に運転するときはこまめに換気をしてください。

換気が不十分な場合は他の燃焼器具により空気中の酸素が減少し、一酸化炭素中毒の原因になることがあります。

●室内機の上に花瓶等水の入った容器を乗せないでください。

室内機内部に水が侵入して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。



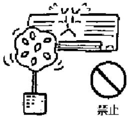
安全に正しくお使いいただくために…

使用時の注意

⚠注意

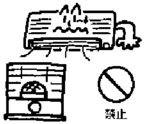
●排気口の近くや直接風が当たる場所には動植物を置かないでください。

動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。



●風が直接当たる所に燃焼器具を置かないでください。

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。



●リモコンに水をかけたり、分解などいたずらをしないでください。

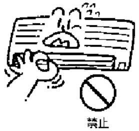
誤動作や故障の原因になることがあります。

●室内機を水洗いしないでください。

感電のおそれがあります。

●上下風向調節羽根は、手で操作しないでください。

リモコンで調節するとき、誤った動きの原因になることがあります。また能力が下がったり安全装置が働いたりすることがあります。



●2週間に1度はエアーフィルターや吹出口の掃除をしてください。

掃除をしないと性能の劣化や過熱の原因になることがあります。

●吸込口や吹出口に指や棒などを入れないでください。

内部でファンが高速で回転しておりケガの原因となります。

●他の目的に使用しないでください。

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などには使用しないでください。
品質低下の原因になることがあります。

●床暖房を設置され、使用する時の注意

- 床暖房の上に電気カーペットを敷かないでください。
  床材の割れ・ソリ・すきまの原因になります。
- カーペット式床暖房に鋭利なものを刺したり、落としたり、釘打ちなどしないでください。
  温水パイプが破損する原因となります。
- 床暖房のうえで長時間座ったり、寝そべったりしないでください。
  低温やけどのおそれがあります。

異常時の注意

⚠危険

●ガス漏れに気づいたらすぐにガス栓を閉め、お買い求めの販売店または大阪ガスにご連絡ください。

マッチやライターを使用したり、電源プラグの抜き差しや近くの電気機器の「入・切」も行わないでください。
また、周辺の電話も使用しないでください。
火災の原因になります。

⚠警告

●万一異常な燃焼、臭気、異常音が感じられた時や地震、火災などの緊急の場合は、あわてずにガス栓および給水栓を閉め電源プラグを抜いてすぐにお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災や一酸化炭素中毒の原因になります。

●ご自分での機器の分解・修理・移動や再設置はしないでください。

不備があると感電や火災の原因になります。

⚠注意

●停電時の処置

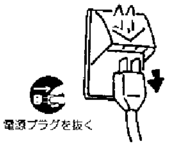
- 停電すると自動的にガスが止まり燃焼が停止します。
- 再通電しても機器が、運転停止状態になっていますので15・16ページの使いかたに従って操作してください。

●断水時の処理

- 断水時は給水元栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、15・16ページの使いかたに従って操作してください。

●雷時の処置について

- 近くで雷の音が聞こえたときは、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いてください。（機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカを切ってください。）
  電子部品が故障する原因になります。
- 雷が遠ざかったことを確認したら必ず電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んで使用してください。（または、機器用屋内ブレーカを入れてください。）



他

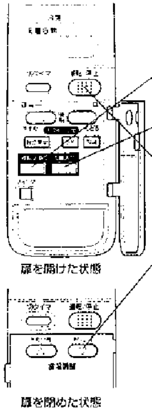
●定期点検について

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、1～2年に1回程度の定期点検をおすすめします。（有料）
  〔お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。〕

運転のしかた

運転方法については室内機の取扱説明書に詳しく記載してあります。

冷房運転



扉を開けた状態

扉を閉めた状態

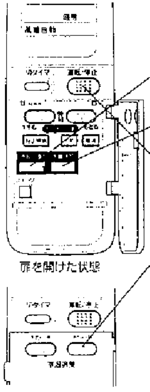
●運　転

1. リモコンの扉を開けお望みの運転モードを選びます。
2. 風量を設定します。
   風量は「自動」または「弱」から「強」まで5段階
   通常は「自動」をおすすめします。
3. リモコンの扉を閉め温度を設定します。
   冷房時のおすすめ温度は26℃～28℃
4. 運転/停止ボタンを押します。

●停　止

運転/停止ボタンを押します。

暖房運転



扉を開けた状態

扉を閉めた状態

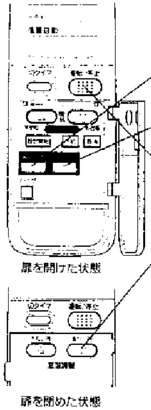
●運　転

1. リモコンの扉を開けお望みの運転モードを選びます。
2. 風量を設定します。
   風量は「自動」または「弱」から「強」まで5段階
   通常は「自動」をおすすめします。
3. リモコンの扉を閉め温度を設定します。
   暖房時のおすすめ温度は18℃～23℃
4. 運転/停止ボタンを押します。

●停　止

運転/停止ボタンを押します。

ドライ運転



扉を開けた状態

扉を閉めた状態

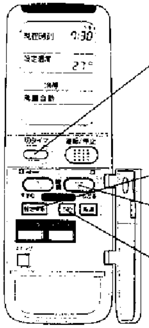
●運　転

1. リモコンの扉を開けお望みの運転モードを選びます。
2. 風量を設定します。
   ドライ運転時の風量は、室内ユニットが自動調整します。
3. リモコンの扉を閉め温度を設定します。
   「標準」または「低」から「高」まで5段階調整します。
4. 運転/停止ボタンを押します。

●停　止

運転/停止ボタンを押します。

タイマ運転



●次回から「予約ボタン」を押すだけで、同じ時刻にセットできます。

●切タイマ運転……お望みの時間に運転を停止します。

切タイマボタンで時間を設定します。

本体表示部“運転中”

●入タイマ運転……セットした時刻に運転を開始させます。

1. リモコンの扉を開け設定開始ボタンを押します。
   入タイマ　0:00
2. 時刻設定をします。
   入タイマ　6:30
3. 予約ボタンを押します。
   入タイマ　6:30

●「入タイマ」が表示されます。

凍結による破損予防について

暖かい地域でお使いのお客様も、必ずお読みください。

●冬期は暖かい地域でも、給水・冷温水配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
こうした事故を予防するために、次のような処置をおとりください。

⚠注意

給水元栓・給水管などの凍結は予防できませんので、必ず保温材や電気ヒータを巻くなどの措置をしてください。

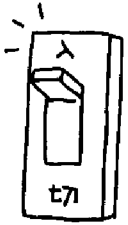
通常の場合（冷暖房をお使いでない場合でも電源は切らないでください。）

凍結予防ヒータとポンプ運転による方法

●操作方法

この機器には、外気温が下がると自動的に機器本体内の配管を保温するヒータと自動冷温水ポンプ運転装置が組込まれています。**特別な運転操作は必要ありませんが、**次のことを注意・確認してください。

- **電源プラグがコンセントに差し込まれている（機器用屋内ブレーカが「入」になっている）ことを確認してください。**抜けていると作動しませんので注意してください。（室外機、室内機すべて確認してください。）
- 外気温が極端に低くなる（－10℃未満）場合は、下記の水抜きによる方法が有効です。



長期にわたり、やむを得ず電源を「切」にする場合（詳しくは26ページをご覧ください。）

水抜きによる方法

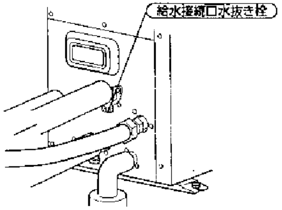
- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。
- 不凍液が入っていない場合で、やむを得ず長期間にわたって機器を使用せず電源を「切」にするときに行います。（電源プラグを抜くか、機器用屋内ブレーカを「切」にしたときにのみ行ってください。）

①給水配管の水抜き

1．給水元栓を閉めます。

2．給水接続口の水抜き栓を開けてください。

- 水抜き栓を開けますと、約400ccの水が出ますので適切な受け皿を用意してください。



全部の水抜きが終わりましたら、開けた水抜き栓を閉めます。水抜き栓は、ゆっくり閉めてください。 次ページへつづく

水抜きによる方法　（つづき）

②冷温水配管の水抜き

冷温水配管の水抜きは、冷温水接続口と機器本体前板の2カ所で行います。

◎冷温水接続口の水抜き

1．室内機の運転をすべて、停止してください。

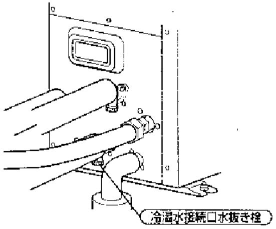
2．ガス栓を閉めてください。

3．給水元栓を閉めてください。

4．電源プラグを抜くか、機器用屋内ブレーカを「切」にしてください。

5．冷温水接続部の水抜き栓を開けてください。

水抜き栓を開けますと機器から約3000ccの水が出ますので適切な容器を準備してください。



⚠注意

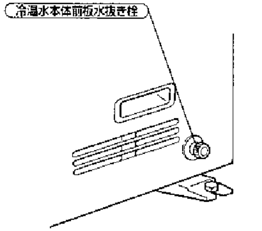
暖房の使用後は、機器内の温水が高温になっていますので、機器が完全に冷えてから水抜きを行なってください。（運転停止後約1時間）
やけどをするおそれがあります。

◎機器本体前板の水抜き栓による水抜き

冷温水接続口の水抜きに続いて行います。

6．水抜き栓のつまみをゆっくり回します。

徐々に水が出ます。



全部の水抜きが終わりましたら、開けた水抜き栓を閉めます。水抜き栓は、ゆっくり閉めてください。

凍結による破損予防について

水抜き後、再び冷暖房運転される場合は…

再度使う時は、まず、水抜き栓がしっかり閉められていることを確認し次の手順で運転の準備をしてください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。または、機器用屋内ブレーカを「入」にしてください。
2. ガス栓を全開にしてください。
3. 給水元栓を全開にしてください。
4. 室内機で、運転スイッチを入れ運転できることを確認してください。
   - 運転スイッチを入れたと同時に、機器本体が自動的に、給水漏水確認を行い、冷（暖）房運転を、開始しますので再使用の最初は、運転に時間がかかります。

もし凍結して運転ができないとき

万一凍結して運転ができない時は、次の処置を行ったうえ水漏れの確認を行ってください。

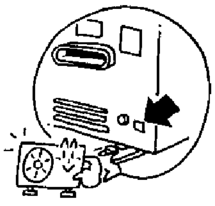
1. リモコンの運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を閉める。
3. 給水元栓を閉める。
4. 少し気温が上がったら、ときどき運転ができるか確認する。
5. 運転ができるようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用してください。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。
凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

不凍液について

冷温水側の凍結予防には不凍液を使用している場合もあります。（使用している場合は、機器前面右下にラベルを貼付け表示してあります。）
不凍液は適正濃度を保つため1年に1度点検が必要です。
お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

- 不凍液の使用については、機器前面右下にラベルを貼付・表示してあります。
  - 不凍液が入っているときには
    不凍液が入っています
  - 不凍液は入っていないときには
    不凍液が入っていません



安全装置について

安全装置の種類とはたらきと処置方法

安全装置	作動理由	はたらき（現象）	処置方法
立消え安全装置	使用中にバーナーの火が消えたとき	バーナの炎状態を監視し、万一火が消えた場合に自動的にガスを止め運転を停止します。	ガス栓が全開であるのを確認後、しばらくしてから使用してください。
高温再生器過熱防止装置	機器内の温度が異常に高くなったとき	自動的にガスを止め運転を停止します。（機器が使用できなくなります。）	すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡してください。
電流ヒューズ	過電流が流れたとき	過電流が流れた時にヒューズが溶断し電気回路を開き運転を停止します。（機器が使用できなくなります。）	
過熱防止装置（温度ヒューズ）	機器内の温度が異常に高くなったとき	機器内の温度が異常に高くなったときに温度ヒューズが溶断し電気回路を開き運転を停止します。（機器が使用できなくなります。）	
漏電安全装置	絶縁不良などで漏電したとき	漏電したとき電気を遮断し運転を停止します。（機器が使用できなくなります。）	
凍結予防装置	気温が下がってきたとき	機器内に組込まれたヒータとポンプが作動し、凍結を予防します。	「凍結予防のしかた」をご覧ください。（17・18・19ページ）

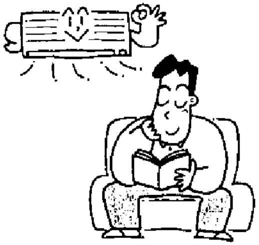
処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

じょうずな使い方……

ちょっとした気づかいで、ムダなく効率的に

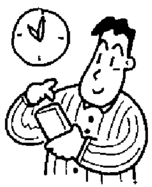
●室温はいつも適切に

おすすめ温度（暖房18～23℃、冷房26～28℃）
暖めすぎ・冷やしすぎは、ガス・電気のムダ使い。
からだにもよくありません。



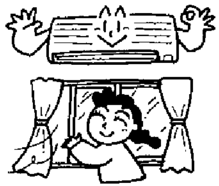
●タイマを上手に使って

必要な時間だけ、運転しましょう。



●直射日光や風は、入れないで

窓や出入り口はキチンとしめましょう。



●お手入れはこまめに

エアフィルタの目づまりは、効率ダウンのもと。
こまめに掃除してください。

●風向調節をうまく使って

室温のムラがないよう、上手に調節しましょう。

知っておいていただきたいこと……

もう一度、確かめておきましょう

運転モード（冷房・暖房・ドライ）の優先は	・冷房運転・暖房運転・ドライ運転のときで多室でご使用になるときは、先に使用している部屋の運転モードが優先となります。他の部屋でご使用になるときは、その運転モードだけでの運転となり他のモードでの運転はできません。
冷房運転時には	・長期間（1週間以上）停止していたあとの運転や、はじめてお使いのときは、冷風がでるまで5分間程度かかります。 ・外気温が15℃以下および部屋の温度が16℃以下のときには、保護装置が働き運転しないことがあります。 ・湿度が高い（80%以上）ときの長時間冷房運転か、ドライ運転をしますと吹出口付近に露がつき落ちることがあります。
暖房運転時には	・長時間停止していたあとの運転は、温風がでるまで5分間程度かかります。 ・運転開始のとき、冷風が吹き出さないように室内機が暖まるまで約5分間ファンが運転しないことがあります。
冷房運転と暖房運転の切換には	・冷房運転・暖房運転の切換には、時間がかかることがあります。
ドライ運転時には	・風量調節はできません。
風量切換は	・自動に設定すると、室温の変化に合わせてきめ細かく風の強さを切換えます。「弱風」「微風」設定時は、機器の最大能力での運転はしません。
室温調節は	・お子様やお年寄り、身体のご不自由な方がお使いのときは、周囲の方が常に注意してください。
テレビ・ラジオなどをお使いの際は	・1メートル以上離してください。 映像や音声に乱れが起こることがあります。
停電時には	・運転中に停電の場合、すべての運転を停止します。 再開するときは、停止状態になっていますので、運転/停止ボタンを押し直してください。
雷のときは	・運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・雷が遠ざかったことを確認したら、電源プラグをもとどおりコンセントにしっかり差し込んでください。
断水時には	・長時間断水が続く場合は、運転が停止することがあります。 ・断水した場合は、給水栓を閉じ運転を停止してください。 再開する場合は、停止状態になっていますので、運転/停止ボタンを押し直してください。
異常時には	・まず、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をみて点検してください。 それでも異常のある場合は、お買い求めの販売店または大阪ガスへご連絡ください。
転居や移設をされる時は	・転居や別の部屋に機器を移されるときは、専門の技術が必要です。 必ずお買い求めの販売店にご相談ください。 (この場合の実費はいただきます。) ・ご自分で移設を行いますと水が吹出したり、配管や配管の接合部分が破損したりして故障の原因になることがあります。また、不備があると火災の原因にもなりますので、必ず、専門業者におまかせください。
凍結予防機能について	・外気温が3℃以下になると、室外機が凍結予防の自動運転を行い凍結を防ぎます。 寒冷地の場合は、冬期には必ず電源プラグを入れたままにしておいてください。

日常の点検とお手入れ……

安全にお使いいただくために

チェックポイント

- ●機器のまわりに燃えやすいものはありませんか？
- ●機器の外観に異常はありませんか？
- ●機器のまわりから、ガスの臭いがしませんか？
- ●電源コードやプラグは傷んでいませんか？
- ●機器は傾いていませんか？

⚠警告

●ご自分で機器の修理・分解はしないでください。
不備があると感電や火災の原因になります。

室外機のお手入れ

●クーリングユニットフィルタのお手入れ

2週間に一度は、落ち葉、ゴミなどがフィルタに付いていないか点検してください。
もし落ち葉などがついている時は、取り除いてください。
落ち葉などがフィルタについたままで使用すると能力が落ちたり、機器の運転ができなくなります。

⚠注意

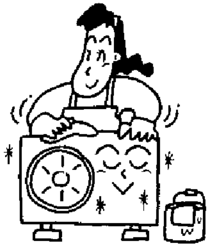
掃除の時は必ず運転を停止してください。内部でファンが高速で回転していますので、けがの原因になることがあります。
※必ず、プラグ部を持って抜いてください。

●機器本体のお手入れは…

汚れはていねいに拭きとってください。
機器本体は、やわらかな布でお湯か水で汚れを拭き取ります。

⚠注意

お手入れは手袋などで指先を保護し機器が充分に冷えてから行ってください。



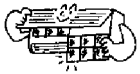
●配管部分のお手入れは…

時々配管部分を点検し、変形やぐらぐらして不安定な箇所はないかなどチェックしてください。万一変形などがある場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

室内機のお手入れ

●エアーフィルタのお手入れは……2週間に1度はお掃除を

1 運転を停止して、前面パネルをひらきます。
エアーフィルタを軽く押しあげ、引掛部をはずします。
下へ引き出します。



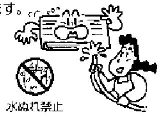
2 汚れのひどいときは中性洗剤を溶かした、ぬるま湯か水で洗います。あとは日陰でかわかします。

3 前面パネルを閉じます。

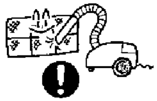
⚠注意

●掃除の時は必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
内部でファンが高速で回転しているので、ケガの原因になることがあります。
※必ず、プラグをもって抜いてください。

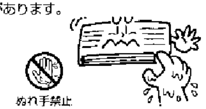
●室内機を水洗いしないでください。
感電のおそれがあります。



●2週間に1度はエアーフィルタや吹出口の掃除をしてください。
掃除をしないと性能の劣化や過熱の原因になることがあります。

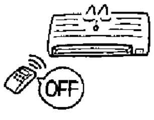


●濡れた手でスイッチを操作しないでください。
感電のおそれがあります。



●機器本体のリモコンのお手入れは……汚れはていねいにふきとって

1 運転を停止してください。



2 室内機の汚れは40℃以下のお湯か水で汚れをふきとります。

3 リモコンの汚れは水を使わず、からぶきします。

●ベンジン・シンナー・みがき砂などは、製品を傷めることがありますので使用しないでください。
●機器本体には安全に関する注意ラベルが貼付してあります。汚れたり、読めなくなった時は、やわらかい布などで汚れをふき取ってください。
また、お手入れの際にははがれないようにご注意ください。

日常の点検とお手入れ……

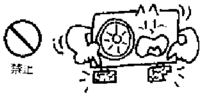
●シーズン前の点検は……まずは見なおしてください

⚠警告

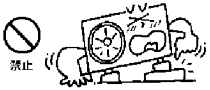
●アース線がはずれていませんか？
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

⚠注意

●室外機の据付け台はいたんでいませんか？
さびたり腐ったりしていると室外機の落下につながり、ケガの原因になることがあります。

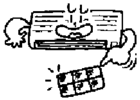


●機器が傾いていませんか？
衝撃などにより倒れたり、性能が充分に発揮できなくなる場合があります。



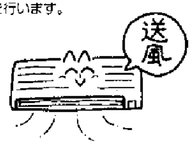
●排気口や空気の吸込み口・吹出し口の前に物がおいてありませんか？
性能が不十分だったり過熱や火災の原因になることがあります。

●エアーフィルタは入っていますか？
入れないで運転すると、室内機の内部が汚れ、故障の原因になります。

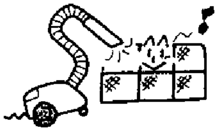


●シーズン後のお手入れは……大切な機能を守るために

1 内部を乾燥させます。
長時間機器を使用しない場合、半日ほど送風運転を行います。



2 エアーフィルタを掃除します。



長期間使用せず、やむを得ず電源を切る場合

長期間不在される場合など、やむを得ず機器の電源を切る場合は、次のことを行っておいてください。ただし、不凍液が入っている場合（室外機の右下に表示）は、水抜きをしないでください。

●冬期の凍結予防の為できるだけ電源は入れたままにしておいてください。

1 リモコンで運転を停止してください。

2 機器が冷えるまでじゅうぶん待ってください。

⚠注意

暖房の使用後は、機器内の温水が高温になっていますので、機器が完全に冷えて（約1時間）から水抜きを行う必要があります。
やけどをするおそれがあります。

3 電源プラグを抜きます。または、機器用屋内ブレーカを「切」にしてください。

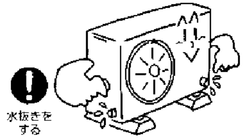
⚠注意

ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。

4 ガス栓と給水元栓を閉めてください。
（くわしくは3ページをご覧ください。）

5 機器の水抜きをしてください。
（17・18・19ページをご覧ください。）

※冬期は暖かい地域でも給水・冷温水配管の水が凍結し、配管の破損事故が起こることがあります。
こうした事故を防ぐために機器の水抜きを行い凍結予防処置を行ってください。



故障かな？と思ったら……

まずチェックしてみましょう

つぎのことをお調べください……

こんな時は	ここを点検してみましょう
運転しない時	●室外機のガス栓が開いていますか？ また、全開になっていますか？ ●給水栓が開いていますか？ また、全開になっていますか？ ●断水ではありませんか？ ●電源プラグはコンセントにしっかり入っていますか？ ●ブレーカが切れていませんか？ ●停電ではありませんか？ ●リモコンを室内機の受信部に向けていますか？ ●リモコンに電池が入っていますか？ また、電池が減っていませんか？ ●リモコンの電池のプラスマイナスが逆になっていませんか？
よく冷えない時 よく暖まらない時	●部屋の窓や戸が開いていませんか？ ●室外機のガス栓は全開になっていますか？ ●給水栓は全開になっていますか？ ●室温調整が、適切な温度になっていますか？ ●エアーフィルタにほこりがつまっていませんか？ また、掃除がされていますか？ ●室内機の吸込口がふさがれていませんか？ ●冷風・温風の出口がふさがれていませんか？ ●運転モードの冷房・暖房が逆になっていませんか？ ●他の部屋で、別の運転モード（冷房：暖房：ドライ）での運転をしていませんか？

こんな場合は故障ではありません……

冷房運転のとき

こんな現象の時は	故障ではありません
はじめて運転するとき なかなか点火しない	ガス管の内部に空気が入っているためです。 空気を逃がすためにもう一度、運転操作をしてください。
点火したとき、室外機からボッと音がする	バーナに点火した音です。
点火・消火したあとに、室外機・室内機が「ピシピシ」と音をたてる	室外機・室内機内部が、収縮・膨張する音です。
運転開始後、室外機から「パリパリ」と音がする	室外機が点火し運転が開始されたときの音ですので異常ではありません。約1分でなくなります。
クーリングユニットから「ゴボッゴボッ」と音がする	クーリングユニットが冷却水を給水しはじめている音です、給水が完了するとなくなります。（約1分）
クーリングユニットや排気口から湯気が出る	クーリングユニットから出る風や燃焼した排気ガスは、水蒸気をたくさん含んでいます。これが外気と触れると白く見えるためですので問題はありません。
排水口からときどき水が出る	クーリングユニットの水質が悪化するのを防止するためにときどき排水するためです。
点火してもすぐに冷風がでてこない	冷風がでるまで5分間程度かかることがあります。もうしばらくお待ちください。
室内機から吹出す風が臭う	お部屋や家具、たばこのにおいなどが室内機に付着し、吹出されているためです。
運転中や停止直後に、室内機から「シュルシュル」音がする	室内機内部の冷水が流れる音です。
冷風吹出し口のまわりに水（ドレン）がつく	使用条件によって、水がつく場合があります。 ぞうきんなどで拭きとってください。
冷風吹出し口から霧が出る	吹出した冷風で部屋の空気が冷やされ、霧のように見えるためです。

故障かな?と思ったら……

こんな場合は故障ではありません……

暖房運転のとき

こんな現象の時は	故障ではありません
はじめて運転するとき なかなか点火しない	ガス管の内部に空気が入っているためです。 空気を逃がすためにもう一度、運転操作をしてください。
点火したとき、室外機からボッと音がする	バーナに点火した音です。
点火・消火したあとに、室外機・室内機が「ピシピシ」と音をたてる	室外機・室内機内部が、収縮・膨張する音です。
運転開始後、室外機から「パリパリ」と音がする	室外機が点火し運転が開始されたときの音ですので異常ではありません。約1分でなくなります。
排気口から湯気が出る	燃焼した排気ガスは水蒸気をたくさん含んでいます。 これが外機と触れると白く見えるためですので問題はありません。
冬期など寒いとき運転してないのに室外機から運転音がする	凍結防止運転を行っているためです。外気温が約3℃以下になると自動的に運転を開始し、約7℃になると自動的に運転がとまります。
点火してもすぐに温風がでてこない	機器が十分暖まっていないためです。 温風がでるまで5分間程度かかることがあります。
室内機から吹出す風が臭う	お部屋や家具、たばこのにおいなどが室内機に付着し、吹出されているためです。
運転中や停止直後に、室内機から「シュルシュル」音がする	室内機内部の温水が流れる音です。

リモコンが故障かな?と思ったら……

まず、電池が入っているか?電池が消耗していないか?点検してください。
電池が消耗するときは、リモコンの表示部に電池の絵が表示されます。(室内機の取扱説明書参照)

こんな時は	ここを点検してみましょう
運転/停止ボタンを押しても機器から作動音がしない	・リモコン送信部と室内機受信部の位置はあっていますか? リモコン送信部を室内機の受信部に向け、運転/停止ボタンを押してください。
ボタンを押しても運転しない	・ボタンを押し間違えていませんか? 運転/停止ボタンを押してください。
温度設定ボタンを押しても、温度表示が出ない	・送風運転モードになっていませんか? 送風運転の場合は、表示はでません。 ・ドライ運転モードのときは、温度表示はでません。 「高・標準・低」で表示されます。
風量調節ボタンを押しても、設定変更ができない	・ドライ運転モードになっていませんか? ドライ運転の場合は風量が自動設定になります。
時間がたつと、表示がすべて消える	・切タイマー運転が終わったのではないですか? 現在時刻の表示だけは残ります。

リモコンが故障した場合は?……

応急運転のしかたを確認してください。

リモコンの故障や紛失、あるいは電池きれなどの際には、応急的な運転ができます。
室内機の取扱説明書の、応急運転のしかたの項をお確かめください。

故障の場合は、まずは販売店・当社へのご連絡を!

⚠警告

- いままでの内容をお調べになっても、なおわからない時や、異常が続くときは、すぐに運転を停止し電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店または大阪ガスへご連絡ください。
  異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。

保証とアフターサービス……

必ずお読みください。

点検・修理を依頼される前に

⚠警告

- 27ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
  確認のうえそれでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。

●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

(1) 品　名　ガス吸収式冷暖房機
(2) 品　番…右側面に貼付してあります。

(例) 40-600の場合

(N)40-600(U)
大阪ガス株式会社　05

(3) 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
(4) ご住所・お名前・電話番号・道順
(5) 訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。銘板に表示してあるガス・電源以外では使用しないでください。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。
また、機器を移設される場合にも、専門の技術が必要となりますので、お買い求めの販売店、または、もよりの大阪ガスにご相談ください。この場合、移設に要する費用は保証期間内でも有料となります。

⚠警告

- 転居された場合もガスの種類、電源の種類が一致していることを確認してください。
  間違っていると修理できない故障や不完全燃焼及び爆発点火の原因になります。
- ご自分での修理・移動や再設置はしないでください。
  不備があると感電や火災の原因になります。

保証について

この機器には保証書がついています。
当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに、無料修理に応じることをお約束します。（詳細は保証書をご覧ください。）
この機器の保証期間はお買い上げの日から2年間です。
保証書を紛失されますと無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
修理によって性能が維持できる場合は有料修理致します。なお、当社は販売店からの注文により補修用性能部品を販売店に供給します。
ガス吸収式冷暖房機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年です。
(1) この期間は通商産業省の指導によるものです。
(2) 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービス等についてわからないとき

お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。裏表紙の住所一覧表を参照してください。

点検整備のおすすめ

- 快適に、ご使用いただくために定期的に点検整備を受けられることをおすすめします。
- 点検整備は、お買上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお申しつけください。点検整備の内容は、機能部品の点検、確認及び清掃整備です。
  この場合は有料となります。

アフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。

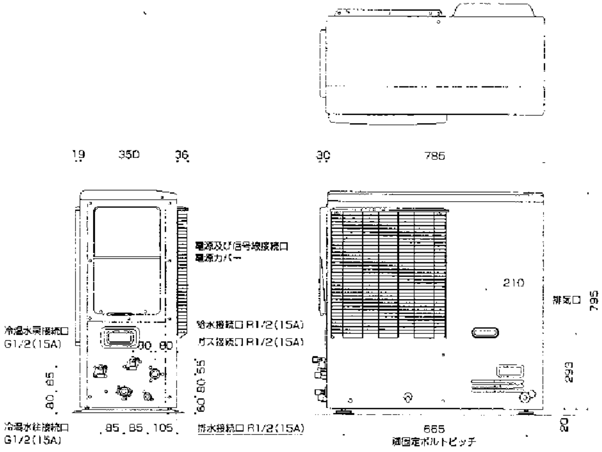
仕　様

品名		40-600
型式名		RNAL-50G
名称		ガス吸収式冷暖房機
設置方式		屋外据置型
電源		単相　AC100V　50/60Hz
冷房	冷房能力(kW)	5.0
	消費電力(W)	430/450 (50/60Hz)
暖房	暖房能力(kW)	7.2
	消費電力(W)	180/180 (50/60Hz)
	凍結予防運転時消費電力(W)	180/180 (50/60Hz)
外形寸法(mm) 高さ×幅×奥行		795×785×350
製品質量(kg)		98
安全装置		立ち消え安全装置・凍結予防装置・過熱防止装置 電流ヒューズ・漏電安全装置
付属品		取扱説明書・工事説明書・保証書・故障診断シート 水準器乗せ板・接続ジョイント金具・接続パッキン 床暖コントローラ用コネクター・床暖熱動弁用コネクター・アース棒

使用ガス 使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量		ガス接続口
	冷房時	暖房時	
LPガス用	5.33kW (0.38kg/h)	9.3kW (0.67kg/h)	R1/2ねじ
都市ガス・13A	5.33kW (4,590kcal/h)	9.3kW (8,000kcal/h)	

外形寸法図

単位：mm



MEMO

MEMO